

令和6年度  
(2024年度)

# 学 生 募 集 要 項

**【特別選抜 私費外国人留学生(渡日入試・渡日前入試)】**

(インターネットによる出願受付)



長崎県立大学  
UNIVERSITY OF NAGASAKI

お問い合わせ先

長崎県立大学 学生支援課 学生グループ

【経営学部・地域創造学部】佐世保校

〒858-8580 長崎県佐世保市川下町123番地

Tel 0956-47-5703 / Fax 0956-47-4616

【国際社会学部・情報システム学部・看護栄養学部】シーボルト校

〒851-2195 長崎県西彼杵郡長与町まなび野1丁目1番1

Tel 095-813-5065 / Fax 095-813-5222

お問い合わせフォームを利用する場合は、  
QRコードよりアクセスしてください。



## 【目 次】

インターネット出願	1
1. 理念と教育目的、学生受け入れ方針等	2
2. 募集人員	13
3. 入試日程	13
4. 私費外国人留学生特別選抜（渡日入試）出願資格	14
5. 私費外国人留学生特別選抜（渡日前入試）出願資格	15
6. 選抜方法等	17
7. 出願手続	20
8. 合格発表	23
9. 入学手続	23
10. 受験上の配慮	24
11. 初年度納付金等	24
12. 入試情報の開示	26
13. 評価・合否判定基準	27
14. 個人情報の利用	28

※日時については、特に注記がない場合、日本標準時間（JST）を示します。

# インターネット出願

長崎県立大学ではすべての入試においてインターネット出願を導入しています。  
なお、出願期間中に郵送が必要な書類がありますのでご注意ください。

## ■ 出願の流れ

### 1) 事前準備

パソコンまたはスマートフォンで大学ホームページ（本学 HP）の「インターネット出願はこちら」にアクセスし、インターネット出願システム「Post@net」のログインページから新規登録を行ってください。登録後、Post@net にログインし、長崎県立大学を選択し、『はじめに』から「インターネット出願ガイド」をダウンロードしてください。

### 2) 出願に必要な書類などを準備

「インターネット出願ガイド」を参照して、出願に必要な書類などを準備してください。  
なお、出願登録の際に、顔写真データ（JPG、3MB 未満）が必要になりますので、予めご準備ください（上半身／無帽／正面向き／背景無し／カラーで、出願前3か月以内に撮影したもの）。

### 3) 出願登録を行う

Post@net で本学を選択し、『出願』から画面の指示に従って登録内容を入力してください。

#### 登録内容

- ①出願情報（入試区分・志望学部学科等）、②志願者情報、
- ③検定料支払方法

※②の志願者情報入力後、【出願確認票（未入金）】をダウンロードしてください。

【出願確認票（未入金）】は学校の先生、保護者の方の確認用としてもご利用ください。

≪支払方法≫

- ◎クレジットカード ◎コンビニエンスストア ◎銀行ATM（ペイジー）
- ◎ネットバンキング（ペイジー）

※日本国外から支払う場合は、クレジットカードにより支払ってください。

### 4) 検定料を支払う

選択した支払方法に従って、**支払期限までに**検定料（17,000円）を支払ってください。

※別途、振込手数料（600円）が必要です。

### 5) 出願書類の印刷・郵送

検定料の支払い後、Post@net の『出願内容一覧』に入り、本学の『出願内容を確認』から、各種様式をダウンロードし、A4サイズの用紙に印刷してください。

本要項に記載されている出願手続きに従って、必要書類及び封筒等を準備し、≪出願書類提出期限≫に間に合うように郵送してください。

### 6) 出願完了

## 1. 理念と教育目的、学生受け入れ方針等

### (1) 長崎県立大学の理念と教育目的、学生受け入れ方針

#### ◆長崎県立大学の理念と教育目的

長崎県立大学は、「人間を尊重し平和を希求する精神を備えた創造性豊かな人材の育成」、「長崎に根ざした新たな知の創造」、「大学の総合力に基づく地域社会及び国際社会への貢献」を基本理念として掲げています。

このため、人間を尊重し世界の平和を希求する精神を基本に、深い洞察力と実践力を備えた感性豊かな人材を育成します。また、理論と実践を融合した高度な教育研究を推進するとともに、長崎の地理的・歴史的・文化的特性を踏まえた新たな知の創造を目指します。

さらに、社会における諸問題に大きな関心を持ち、地域社会および国際社会に貢献できる人材を育成します。

#### ◆学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）

長崎県立大学は、大学の教育理念・目的を達成するために、本学の学位授与の方針やカリキュラム編成の方針を理解し、主体的かつ積極的に学ぶことができる以下のような人を求めています。

- 高等学校の教育課程で学習する内容に関する幅広い知識を有する人
- 高等学校の教育課程で獲得する知識やスキルを活用できる人
- 多様性を理解し、他者と協働する力を有する人
- 人や自然を尊重できる人
- 何事にも好奇心を持ち、積極的に挑戦したいと考えている人
- 目的をもって、忍耐強く努力したいと思っている人
- 長崎の歴史・文化や地域的特性に関心を持っている人
- 地域社会や国際社会に貢献したいと考えている人

また、長崎県立大学では、高大接続の観点を踏まえつつ、学部・学科の特性に応じて各種の選抜方法を実施します。

## (2) 経営学部

### 【教育目的】

現代の国内外の企業経営に必要な知識・知見と実践力を身に付け、幅広い視野で経営上の課題を解決できる人材を育成します。具体的には次のような分野で活躍できる人材です。

- 経営に関する専門的・総合的な視野を備え、企業の経営における様々な課題を理解し、分析・解決できる人材
- 外国語を用いたコミュニケーション能力と国際的な視野を備え、グローバルに活躍できる人材

### 【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】

教育目的を達成するために、高等学校の教育課程相当の教科・科目を広く修得し、自らが学ぼうとする分野の基礎となる知識を身に付けていることに加え、以下のような人を求めています。

- 経営、マーケティング・流通、会計・簿記などに興味を持つ人
- 国際的に展開する企業活動や、日本企業の現場の仕組みに関心を持つ人
- 経営に関する企画・立案力を高めて、地域社会や国際社会の成長に貢献したい人
- 語学力向上に意欲を持ち、国際社会の中で活躍したい人

経営学部の入学者選抜においては、各学科の特色に応じて、各種の選抜方法を実施します。具体的な内容については、各学科のアドミッション・ポリシーで定めます。

経営学科	<p><b>【教育目的】</b> 企業をはじめとする組織の経営に必要な知識・知見と実践力を身に付け、幅広い視野で様々な企業等の課題に主体的に対応できる人材を育成します。具体的には次のような分野で活躍できる人材です。 ○経営、マーケティング、会計等に関する知識・知見を有し、企業の各分野において活躍できる人材 ○事業を立ち上げるなどして地域で活躍できる人材 ○経営、会計等に関する知識・知見を有し、大学院に進学したり教員として活躍したりできる人材</p> <p><b>【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】</b> 教育目的を達成するために、高等学校の教育課程相当の教科・科目を広く修得し、自らが学ぼうとする分野の基礎となる知識を身に付けていることに加え、以下のような人を求めています。 ●経営に関する専門知識を学び、企業をはじめとする組織を立ち上げたり、企業等の成長に貢献したりしたい人 ●マーケティング・流通に関する専門知識を学び、小売・サービス・金融・運輸などの分野で活躍したい人 ●会計・簿記の専門的知識を学び、税理士や企業等の会計部門で活躍したい人 ●経営に関する企画・立案能力を高めて、地域社会の成長に貢献したい人</p> <p><b>【入学者選抜の基本方針】</b> 一般選抜（前期日程、後期日程）のほか、総合型選抜、学校推薦型選抜などを実施し、以下に示す評価方法を多角的に活用することで多様な人材を受け入れることを目指しています。 ●一般選抜（前期日程） 基礎学力の把握のため、大学入学共通テスト（5教科6科目又は7科目）を課すとともに、個別学力検査等（英語）では、高等学校で得た基礎学力を前提に、理解力、表現力等を評価します。 ●一般選抜（後期日程） 基礎学力の把握のため、大学入学共通テスト（5教科6科目又は7科目）を課すとともに、小論文では、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 ●総合型選抜 基礎学力の把握のため、大学入学共通テスト（4教科4科目）を課すとともに、小論文で、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力などの能力をみて、面接では、出願書類を参考</p>
------	--

<p>経営学科</p>	<p>に、本学科で学修・研究したい地域課題への目的意識や意欲、高校時代にその課題に関わった経験等をもて、総合的に評価します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●学校推薦型選抜 <p>小論文で、高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。</p> </li> <li>●帰国子女特別選抜 <p>小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。</p> </li> <li>●社会人特別選抜 <p>小論文で、高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。</p> </li> <li>●私費外国人留学生特別選抜 <p>日本留学試験を課すとともに、小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、日本語能力を評価するとともに、出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。</p> </li> </ul>
<p>国際経営学科</p>	<p><b>【教育目的】</b>  現代の企業経営に必要な知識・知見と実践力及び国際的な経営感覚を身に付け、グローバルな視点で様々な企業の課題に主体的に対応できる人材を育成します。具体的には次のような分野で活躍できる人材です。  ○経営に関する知識・知見及び外国語を用いたコミュニケーション能力を有し、東アジア地域をはじめ海外展開をする企業や団体に活躍できる人材</p> <p><b>【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】</b>  教育目的を達成するために、高等学校の教育課程相当の教科・科目を広く修得し、自らが学ぼうとする分野の基礎となる知識を身に付けていることに加え、以下のような人を求めています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●国際的な経営に関する専門知識を学び、グローバルに活動する企業で活躍したい人</li> <li>●語学向上に意欲を持ち、国際社会の中で活躍したい人</li> <li>●他国の人も協働しながら経営に関する企画・立案能力を高めて、国際社会の成長に貢献したい人</li> </ul> <p><b>【入学者選抜の基本方針】</b>  一般選抜（前期日程、後期日程）のほか、学校推薦型選抜などを実施し、以下に示す評価方法を多角的に活用することで多様な人材を受け入れることを目指しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●一般選抜（前期日程、後期日程） <p>基礎学力の把握のため、大学入学共通テスト（5教科6科目又は7科目）を課すとともに、個別学力検査等（英語）では、高等学校で得た基礎学力を前提に、理解力、表現力等を評価します。</p> </li> <li>●学校推薦型選抜 <p>個別学力検査等（英語）で、高等学校で得た基礎学力を前提に、理解力、表現力等を評価し、面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。</p> </li> <li>●帰国子女特別選抜 <p>小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。</p> </li> <li>●社会人特別選抜 <p>小論文で、高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。</p> </li> <li>●私費外国人留学生特別選抜 <p>日本留学試験を課すとともに、小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、日本語能力を評価するとともに、出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。</p> </li> </ul>

### (3) 地域創造学部

#### 【教育目的】

地域の発展に必要な知識・知見と実践力を身に付け、幅広い視野で地域の課題を解決できる人材を育成します。具体的には次のような分野で活躍できる人材です。

- 地域社会や地域経済が抱える様々な課題を専門的、総合的視野に立って理解し、分析・解決できる人材
- リーダーシップを有し、他者と協働して地域社会や地域経済のあり方を創造できる人材

#### 【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】

教育目的を達成するために、高等学校の教育課程相当の教科・科目を広く修得し、自らが学ぼうとする分野の基礎となる知識を身に付けていることに加え、以下のような人を求めています。

- 地域社会や地域経済の様々な課題について、それらの課題解決に向けて取り組むために必要な基礎的知識と探究への好奇心を身に付けている人
- 地域創造に関心を持ち、そのために必要な知識を理解し、論理的に表現できる能力を有する人
- 課題解決などに対して、主体的に他者と協働して取り組むコミュニケーション能力と、意欲を有している人

地域創造学部の入学者選抜においては、各学科の特色に応じて、各種の選抜方法を実施します。具体的な内容については、各学科のアドミッション・ポリシーで定めます。

<p>公 共 政 策 学 科</p>	<p><b>【教育目的】</b></p> <p>公共という視点に立って、政策の企画・立案及び評価に関する知識・知見と実践力を身に付け、幅広い視野で地域の政策課題を解決できる人材を育成します。具体的には次のような分野で活躍できる人材です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○公共政策に関する知識・知見を有し、地方自治体等において活躍できる人材</li> <li>○公共政策に関する知識・知見を有し、教員として活躍できる人材</li> </ul> <p><b>【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】</b></p> <p>教育目的を達成するために、高等学校の教育課程相当の教科・科目を広く修得し、自らが学ぼうとする分野の基礎となる知識を身に付けていることに加え、以下のような人を求めています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●高等学校までに習得した知識・情報・探究力をつなぎ合わせて、地域社会の様々な問題について、筋道を立てて考え、文章化するなど、論理的に説明することができる人</li> <li>●学科の教育課程で学ぶ諸学問分野の知識を習得する上で基本となる理解力を有する人</li> <li>●公共の問題に関心を有し、地域社会の諸課題について多様な人々と積極的に話し合える柔軟性と主体性を有する人</li> </ul> <p><b>【入学者選抜の基本方針】</b></p> <p>一般選抜（前期日程、後期日程）のほか、学校推薦型選抜などを実施し、以下に示す評価方法を多角的に活用することで多様な人材を受け入れることを目指しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●一般選抜（前期日程） <ul style="list-style-type: none"> <li>基礎学力の把握のため、大学入学共通テスト（5教科6科目又は7科目）を課すとともに、個別学力検査等（英語又は数学）では、高等学校で得た基礎学力を前提に、理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。</li> </ul> </li> <li>●一般選抜（後期日程） <ul style="list-style-type: none"> <li>基礎学力の把握のため、大学入学共通テスト（5教科6科目又は7科目）を課すとともに、個別学力検査等（英語）では、高等学校で得た基礎学力を前提に、理解力、表現力等を評価します。</li> </ul> </li> <li>●学校推薦型選抜（県内離島高校区分を除く） <ul style="list-style-type: none"> <li>基礎学力の把握のため、大学入学共通テスト（4教科5科目）を課すとともに、面接では、調査書等の願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。</li> </ul> </li> <li>●学校推薦型選抜（県内離島高校区分） <ul style="list-style-type: none"> <li>小論文で、高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、集団面接では、調査書等の願書類を参考に、志望動機、学習意欲を個別に確認</li> </ul> </li> </ul>
--------------------	---



<p>公共政策学科</p>	<p>し、集団討論では積極性、協調性、論題についての理解力から、本学科が提供する専門分野に対する適性などを見極め、総合的に評価します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●帰国子女特別選抜 <p>小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。</p> </li> <li>●社会人特別選抜 <p>小論文で、高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。</p> </li> <li>●私費外国人留学生特別選抜 <p>日本留学試験を課すとともに、小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、日本語能力を評価するとともに、出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。</p> </li> </ul>
<p>実践経済学科</p>	<p><b>【教育目的】</b>  企業活動における企画・立案能力を有し、地域経済の動向を分析しその発展に寄与できる人材を育成します。具体的には次のような分野で活躍できる人材です。  ○経済学や地域経済に関する知識・知見を有し、地域企業において活躍できる人材  ○経済学や地域経済に関する知識・知見を有し、教員として活躍できる人材</p> <p><b>【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】</b>  教育目的を達成するために、高等学校の教育課程相当の教科・科目を広く修得し、自らが学ぼうとする分野の基礎となる知識を身に付けていることに加え、以下のような人を求めています。  ●地域経済や企業動向などの分析による課題解決方法を学びたい人  ●経済学や地域経済に関する知識を学び、地域企業等で活躍したい人  ●地域企業のグローバルな事業展開に関心を持つ人</p> <p><b>【入学選抜の基本方針】</b>  一般選抜（前期日程、後期日程）のほか、学校推薦型選抜などを実施し、以下に示す評価方法を多角的に活用することで多様な人材を受け入れることを目指しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●一般選抜（前期日程） <p>基礎学力の把握のため、大学入学共通テスト（5教科6科目又は7科目）を課すとともに、個別学力検査等（英語又は数学）では、高等学校で得た基礎学力を前提に、理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。</p> </li> <li>●一般選抜（後期日程） <p>基礎学力の把握のため、大学入学共通テスト（5教科6科目又は7科目）を課すとともに、小論文では、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。</p> </li> <li>●学校推薦型選抜（県内商業科等区分を除く） <p>基礎学力の把握のため、大学入学共通テスト（5教科6科目又は7科目）を課すとともに、面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。</p> </li> <li>●学校推薦型選抜（県内商業科等区分） <p>小論文で、高等学校で得た基礎学力を前提に、理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。</p> </li> <li>●帰国子女特別選抜 <p>小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。</p> </li> <li>●社会人特別選抜 <p>小論文で、高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。</p> </li> <li>●私費外国人留学生特別選抜 <p>日本留学試験を課すとともに、小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、日本語能力を評価するとともに、出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。</p> </li> </ul>

## (4) 国際社会学部

### 【教育目的】

国際社会及びメディアに関する知識と実践力を身に付け、グローバルな視野での課題解決能力及び情報発信能力を有する人材を育成します。具体的には次のような分野で活躍できる人材です。

- 現代社会が直面する諸課題をグローバルな視野でとらえ、地域社会や国際社会で活躍できる人材
- 高いコミュニケーション能力と情報収集・分析及び批判的・論理的思考能力を備え、自治体や企業の国際部門・メディア産業等で活躍できる人材
- 東アジア地域に関する知見を深め、グローバルな交流の促進や地域社会の発展に寄与できる人材
- グローバル社会やメディア社会に関する知識を有し、教員として活躍できる人材

### 【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】

教育目的を達成するために、高等学校の教育課程相当の教科・科目を広く修得し、自らが学ぼうとする分野の基礎となる知識を身に付けていることに加え、以下のような人を求めています。

- グローバル社会やメディア社会など現代の様々な特性や仕組みについて幅広い関心を持つ人
- グローバル化する地域社会における様々な問題を解決しようとする意欲を持つ人
- 現代社会におけるメディアの役割に関心を持ち、社会の様々な出来事に対して自らの考えを論理的に展開できる人
- 東アジアに関心を持ち、東アジア諸国を中心としたグローバルな交流の推進に貢献したい人
- 英語や中国語などの外国語による高いコミュニケーション能力を習得する意欲を持つ人

国際社会学科	<p><b>【入学者選抜の基本方針】</b></p> <p>一般選抜（前期日程、後期日程）のほか、総合型選抜、学校推薦型選抜などを実施し、以下に示す評価方法を多角的に活用することで多様な人材を受け入れることを目指しています。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●一般選抜（前期日程、後期日程） 基礎学力の把握のため、大学入学共通テスト（5教科7科目又は8科目、若しくは6教科7科目又は8科目）を課すとともに、個別学力検査等（英語）では、高等学校で得た基礎学力を前提に、理解力、表現力等を評価します。</li><li>●総合型選抜 第1次選考では、出願書類に基づき、学科が求める学生像に合致しているか、学科を志望する理由が明確であるか、入学後の学習意欲や将来の展望が的確に示されているか、などの観点から評価します。 第2次選考では、小論文で課題に対する理解力、論理的思考力、表現力などの能力をみて、面接では出願書類を参考に、目的意識、学習意欲、学科が提供する専門分野に対する適性などを評価します。</li><li>●学校推薦型選抜 小論文で、高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。</li><li>●帰国子女特別選抜 小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。</li><li>●社会人特別選抜 小論文で、高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。</li><li>●私費外国人留学生特別選抜 日本留学試験を課すとともに、小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、日本語能力を評価するとともに、出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。</li></ul>
--------	--

## (5) 情報システム学部

### 【教育目的】

情報システムに関する知識と実践力を身に付け、高度情報化社会における課題を解決できる人材を育成します。具体的には次のような分野で活躍できる人材です。

- システム開発にかかる知識や技術を有し、情報技術分野で幅広く活躍できる人材
- 感性豊かな実践的創造力を有し、情報技術を駆使して創作的デザイン分野で活躍できる人材
- 情報セキュリティに関する知識や技術を有し、情報セキュリティ分野で活躍できる人材

### 【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】

教育目的を達成するために、高等学校の教育課程相当の教科・科目を広く修得し、自らが学ぼうとする分野の基礎となる知識を身に付けていることに加え、以下のような人を求めています。

- 情報技術、情報デザイン技術、情報セキュリティ技術に強い関心を持つ人
- 高度情報化社会における諸問題について解決を図ろうとする意欲を持つ人

情報システム学部の入学者選抜においては、各学科の特色に応じて、各種の選抜方法を実施します。具体的な内容については、各学科のアドミッション・ポリシーで定めます。

情報システム学科	<p><b>【教育目的】</b></p> <p>情報システムに関する広い視野と知識を備え、システム開発のプロフェッショナルとして活躍できる人材を育成します。具体的には次のような分野で活躍できる人材です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○システム開発にかかる知識や技術を有し、情報技術分野で幅広く活躍できる人材</li> <li>○感性豊かな実践的創造力を有し、情報技術を駆使してデザイン分野で活躍できる人材</li> </ul> <p><b>【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】</b></p> <p>教育目的を達成するために、高等学校の教育課程相当の教科・科目を広く修得し、自らが学ぼうとする分野の基礎となる知識を身に付けていることに加え、以下のような人を求めています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●システム開発、プログラミング、ネットワークなどの情報技術に強い関心を持つ人</li> <li>●多様なコンテンツを制作する知識を深め、情報デザインのための技術や感性を高めたい人</li> <li>●情報技術や情報デザイン技術の活用により問題解決を図ろうとする意欲を持つ人</li> </ul> <p><b>【入学者選抜の基本方針】</b></p> <p>一般選抜（前期日程、後期日程）のほか、学校推薦型選抜などを実施し、以下に示す評価方法を多角的に活用することで多様な人材を受け入れることを目指しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●一般選抜（前期日程、後期日程） <ul style="list-style-type: none"> <li>基礎学力の把握のため、大学入学共通テスト（5教科6科目又は7科目）を課すとともに、個別学力検査等（数学）では、高等学校で得た基礎学力を前提に、理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。</li> </ul> </li> <li>●学校推薦型選抜 <ul style="list-style-type: none"> <li>小論文で、高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。</li> </ul> </li> <li>●帰国子女特別選抜 <ul style="list-style-type: none"> <li>小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。</li> </ul> </li> <li>●社会人特別選抜 <ul style="list-style-type: none"> <li>小論文で、高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。</li> </ul> </li> <li>●私費外国人留学生特別選抜 <ul style="list-style-type: none"> <li>本学科が示す要件等をすべて満たしていることを条件に、日本留学試験を課すとともに、小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提として、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、日本語能力を評価するとともに、出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。</li> </ul> </li> </ul>
----------	--

**【教育目的】**

情報セキュリティ全般にわたる広い視野と知識を備え、情報セキュリティのプロフェッショナルとして活躍できる人材を育成します。具体的には次のような分野で活躍できる人材です。  
 ○情報セキュリティに関する知識や技術を有し、企業や行政などの情報セキュリティ分野で活躍できる人材

**【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】**

教育目的を達成するために、高等学校の教育課程相当の教科・科目を広く修得し、自らが学ぼうとする分野の基礎となる知識を身に付けていることに加え、以下のような人を求めています。  
 ●情報セキュリティに関する基本的な知識・技術を修得し、情報セキュリティ分野で活躍したい人  
 ●システム開発、プログラミング、ネットワークなどの情報技術に強い関心を持つ人  
 ●情報技術の活用により問題解決を図ろうとする意欲を持つ人

**【入学者選抜の基本方針】**

一般選抜（前期日程、後期日程）のほか、学校推薦型選抜などを実施し、以下に示す評価方法を多角的に活用することで多様な人材を受け入れることを目指しています。

●一般選抜（前期日程、後期日程）

基礎学力の把握のため、大学入学共通テスト（5教科6科目）を課すとともに、個別学力検査等（数学）では、高等学校で得た基礎学力を前提に、理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。

●学校推薦型選抜

小論文で、高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。

●帰国子女特別選抜

小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。

●社会人特別選抜

小論文で、高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。

●私費外国人留学生特別選抜

本学科が示す要件等（日本留学試験を含む）をすべて満たしていることを条件に、小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提として、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、日本語能力を評価するとともに、出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。

## (6) 看護栄養学部

### 【教育目的】

人々の健康な生活を支援するため、豊富な科学的・専門的知識の修得と、あらゆる年齢層のさまざまな健康状態の人々と接することができる豊かな人間性を持つ人材の育成を目指すとともに、健康科学の基礎と応用を総合化した教育研究を推進することにより、実践的問題解決能力を養い、地域の保健・医療活動を通して、人々の健康と福祉の向上に貢献できる人材を育成します。具体的には次のような分野で活躍できる人材です。

- 看護師または管理栄養士として、人々の健康と福祉の向上に貢献できる人材
- 保健・医療・福祉の分野で、他職種と協働して専門的能力を発揮できる人材
- 看護の知識や技術が豊富な養護教諭または子どもたちの食育を担う栄養教諭として、教育現場で活躍できる人材

### 【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】

教育目的を達成するために、高等学校の教育課程相当の教科・科目を広く修得し、自らが学ぼうとする分野の基礎となる知識を身に付けていることに加え、以下のような人を求めています。

- いのちの尊さを理解し、まじめに努力する人
- 人に対する思いやりを持ち、人の苦しみを共有できる人
- 科学を重視し、適確に物事を行える人
- 社会制度の変化に敏感かつ適正に対応できる人
- 協調性があり、他の職種の人々とチーム医療のできる人

看護栄養学部の入学者選抜においては、各学科の特色に応じて、各種の選抜方法を実施します。具体的な内容については、各学科のアドミッション・ポリシーで定めます。

看護学科	<p><b>【教育目的】</b>          生命の尊厳と人権を尊重し、人間を深く理解し根拠に基づき行動する看護師や養護教諭として活躍できる人材を育成します。具体的には次のような分野で活躍できる人材です。          ○人々の健康ニーズ(健康増進、疾病予防・早期発見、健康回復、安寧な人生の看取り)に対応できる基礎的看護実践能力を有する看護師          ○保健・医療・福祉の分野で看護サービスの質向上に寄与できるリーダーシップの基礎的能力を有する看護師          ○看護の専門性を備えた教育職として活躍できる養護教諭</p> <p><b>【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】</b>          教育目的を達成するために、高等学校の教育課程相当の教科・科目を広く修得し、自らが学ぼうとする分野の基礎となる知識を身に付けていることに加え、以下のような人を求めています。          ●看護を通して、人々の健康生活に貢献したいと思っている人          ●物事を科学的に探究し、積極的・主体的に学ぶ姿勢がある人          ●看護学への学習意欲を持ち、専門性の高い看護職になりたいと希望している人          ●さまざまな世代の人々と、柔軟にコミュニケーションがとれる人          ●他者を尊重する姿勢を持ち、協働して活動できる人</p> <p><b>【入学者選抜の基本方針】</b>          一般選抜（前期日程、後期日程）のほか、学校推薦型選抜などを実施し、以下に示す評価方法を多角的に活用することで多様な人材を受け入れることを目指しています。          ●一般選抜（前期日程、後期日程）          基礎学力の把握のため、大学入学共通テスト（5教科6科目又は7科目）を課すとともに、個別学力検査等（英語）では、高等学校で得た基礎学力を前提に、理解力、表現力等を評価し、面接では、調査書等の出願書類を参考に、学習意欲、理解力、表現力、社会性、本学科が提供する専門領域に対する適性等を総合的に評価します。</p>
------	---

<p>看護学科</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学校推薦型選抜（離島看護師特別枠を除く） 基礎学力の把握のため、大学入学共通テスト（5教科6科目又は7科目）を課すとともに、面接では、志望理由書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、理解力、表現力、社会性、論理的思考力、本学科が提供する専門領域に対する適性等を総合的に評価します。</li> <li>●学校推薦型選抜（離島看護師特別枠） 基礎学力の把握のため、大学入学共通テスト（5教科6科目又は7科目）を課すとともに、面接では、志望理由書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、表現力、社会性、本学科が提供する専門領域に対する適性、離島医療に対する貢献意欲等を総合的に評価します。</li> <li>●帰国子女特別選抜 小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、提示した素材により、読解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、志望理由書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、理解力、表現力、社会性、本学科が提供する専門領域に対する適性等を総合的に評価します。</li> <li>●社会人特別選抜 小論文で、高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、提示した素材により、読解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、志望理由書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、理解力、表現力、社会性、本学科が提供する専門領域に対する適性等を総合的に評価します。</li> <li>●私費外国人留学生特別選抜 本学科が示す要件等をすべて満たしていることを条件に、日本留学試験を課すとともに、小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提として、提示した素材により、理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、志望理由書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、理解力、表現力、社会性、日本語による会話的表現力、本学科が提供する専門領域に対する適性等を総合的に評価します。</li> </ul>
<p>栄養健康学科</p>	<p><b>【教育目的】</b> 健康社会実現のために社会の幅広い分野で貢献できる栄養専門家として活躍できる人材を育成します。具体的には次のような分野で活躍できる人材です。 ○地域の人々の健康作りの担い手としての管理栄養士 ○高齢社会の食を支える管理栄養士 ○臨床現場で他のスタッフと連携・協働して栄養マネジメント・アセスメントを実践できる管理栄養士 ○特定給食施設で栄養マネジメントを実践できる管理栄養士 ○食品開発、食糧資源の有効利用、食品衛生管理者などの資格を活かせる管理栄養士 ○次世代社会の子どもたちの食育を担う栄養教諭</p> <p><b>【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】</b> 教育目的を達成するために、高等学校の教育課程相当の教科・科目を広く修得し、自らが学ぼうとする分野の基礎となる知識を身に付けていることに加え、以下のような人を求めています。 ●身近な「食と健康」を通して健康・福祉社会の創出に貢献したい人 ●保健・医療・健康分野や県や市町村などの管理栄養士を志す人 ●食品開発、食品の安全性や機能性などに興味を持っている人 ●子供たちの食育を通して健康生活づくりに寄与したい人 ●生命科学に根ざした「食と健康」を科学するスペシャリストになりたい人</p> <p><b>【入学者選抜の基本方針】</b> 一般選抜（前期日程、後期日程）のほか、学校推薦型選抜などを実施し、以下に示す評価方法を多角的に活用することで多様な人材を受け入れることを目指しています。 ●一般選抜（前期日程） 基礎学力の把握のため、大学入学共通テスト（5教科7科目）を課すとともに、個別学力検査等（化学基礎・化学）では、高等学校で得た化学の基本的な知識と理解力について評価します。 ●一般選抜（後期日程） 基礎学力の把握のため、大学入学共通テスト（5教科6科目又は7科目）を課すとともに、個別学力検査等（化学基礎・化学）では、高等学校で得た化学の基本的な知識と理解力について評価し、面接では、志望動機や将来の展望などとともに、高等学校の一般的学習を前提とした栄養・健康・生命科学に関する時事的諸問題についての理解力や理科学的思考などを総合的に問います。</p>

<p>栄養健康学科</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学校推薦型選抜 <p>課題文読解型（和文及び英文）の小論文で、課題に対する基礎的知識、読解力、分析力、論理的思考力、表現力等を評価します。</p> <p>さらに、面接では、志望動機、学科への関心、生命科学への関心、健康観、将来展望、高校生活等の質疑応答から、目的意識と意欲を総合的に評価し、小論文の評価と合わせて合否を判断します。ただし、一定の基礎学力を有する者が対象となります。</p> <p>基礎学力は、大学入学共通テスト（5教科6科目又は7科目）で評価します。</p> </li> <li>●帰国子女特別選抜 <p>課題文読解型（和文及び英文）の小論文で、日本の高等学校の教育課程で習得される程度の基礎学力を前提として、課題に対する基礎的知識、読解力、分析力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、志望動機、学科への関心、生命科学への関心、健康観、将来展望、高校生活等の質疑応答から、目的意識と意欲を総合的に評価します。</p> </li> <li>●社会人特別選抜 <p>課題文読解型（和文及び英文）の小論文で、課題に対する基礎的知識、読解力、分析力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、志望動機、学科への関心、生命科学への関心、健康観、将来展望等の質疑応答から、目的意識と意欲を総合的に評価します。</p> </li> <li>●私費外国人留学生特別選抜 <p>本学科が示す要件等（日本留学試験を含む）をすべて満たしていることを条件に、小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提として、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、日本語能力を評価するとともに、出願書類を参考に、志望動機、学科への関心、生命科学への関心、健康観、将来展望等の質疑応答から、目的意識と意欲を総合的に評価します。</p> </li> </ul>
---------------	---

## 2. 募集人員

(単位：人)

学部	学科	入学定員	募集人員							
			一般選抜			学校推薦型選抜	特別選抜			総合型選抜
			前期日程	後期日程	計		帰国子女	社会人	私費外国人留学生	
経営	経営	140	70	15	85	45	若干名	若干名	若干名	10
	国際経営	60	30	10	40	20	若干名	若干名	若干名	—
地域創造	公共政策	120	60	30	90	30	若干名	若干名	若干名	—
	実践経済	130	65	20	85	45	若干名	若干名	若干名	—
国際社会	国際社会	60	30	6	36	19	若干名	若干名	若干名	5
情報システム	情報システム	40	20	8	28	12	若干名	若干名	若干名	—
	情報セキュリティ	80	40	20	60	20	若干名	若干名	若干名	—
看護栄養	看護	60	38	6	44	16	若干名	若干名	若干名	—
	栄養健康	40	24	6	30	10	若干名	若干名	若干名	—

## 3. 入試日程

学部	経営学部 地域創造学部	国際社会学部 情報システム学部 看護栄養学部
出願期間	2023年10月6日(金)～10月13日(金)	
選抜期日	2023年11月18日(土)	2023年11月25日(土)
合格発表日	2024年1月5日(金)	
入学手続期間	2024年1月9日(火)～1月19日(金)	



#### 4. 私費外国人留学生特別選抜（渡日入試）出願資格

日本の国籍を有しない者であって、大学において教育を受ける目的をもって入国している者又は入国しようとする者で、次の①～③のすべてに該当する者

①次の（ア）～（ウ）のいずれかに該当する者

（ア）外国において学校教育における12年の課程を修了した者（2024年3月31日までに修了見込みの者を含む）又はこれに準ずる者

（イ）文部科学大臣の指定した次のいずれかの者

i. スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者

ii. ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者

iii. フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者

iv. 外国人を対象に教育を行うことを目的として日本において設置された教育施設であって、その教育活動等について、文部科学大臣が指定する国際的な評価団体（WASC、ACSI、CIS）の認定を受けたものに置かれる12年の課程を修了した者又は2024年3月31日までに修了見込みの者

（ウ）本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

※（ウ）により入学資格認定申請を行う者は、長崎県立大学ホームページで「入学資格認定申請書」を取得し、2023年9月1日（金）までに提出してください。

#### ②【経営学部・地域創造学部・国際社会学部】

独立行政法人日本学生支援機構が実施する日本留学試験の2022年度第2回試験（11月実施）若しくは2023年度第1回試験（6月実施）を受験した者又は2023年度第2回試験（11月実施）を受験見込みの者で、以下の要件に該当する者

学 科	利用科目	試験の成績	出題言語
経 営 国 際 経 営 公 共 政 策 実 践 経 済	日本語	(出願にあたっては) 成績要件は 特に設けない	日本語
	日本語記述		
	数学(コース1又はコース2)		
	理科(物理、化学、生物から2科目 選択)又は総合科目		
国 際 社 会	日本語	(出願にあたっては) 成績要件は 特に設けない	日本語
	日本語記述		
	数学(コース1又はコース2)		
	総合科目		

#### 【情報システム学部・看護栄養学部】

独立行政法人日本学生支援機構が実施する日本留学試験の2022年度第2回試験（11月実施）又は2023年度第1回試験（6月実施）を受験した者で、次頁の要件に該当する者

学 科	利用科目	試験の成績	出題言語
情報システム	日本語	240点以上	日本語
	日本語記述	30点以上	
	数学（コース1又はコース2）	120点以上	
	理科（物理、化学、生物から2科目選択）又は総合科目	120点以上	
情報セキュリティ	日本語	240点以上	日本語
	日本語記述	30点以上	
	数学（コース2）	120点以上	
	理科（物理、化学、生物から2科目選択）	120点以上	
看 護	日本語	280点以上	日本語
	日本語記述	35点以上	
	数学（コース1又はコース2）	(出願にあたっては) 成績要件は特に設けない	
	理科（化学、生物）		
栄 養 健 康	日本語	240点以上	日本語
	日本語記述	(出願にあたっては) 成績要件は特に設けない	
	理科（化学）	60点以上	
	理科（生物）	60点以上	

③出入国管理及び難民認定法において、大学入学に支障のない在留資格を有する者又は取得できる者

## 5. 私費外国人留学生特別選抜（渡日前入試）出願資格

日本の国籍を有しない者であって、大学において教育を受ける目的をもって入学しようとする者で、次の①～④のすべてに該当する者

①次の（ア）又は（イ）のいずれかに該当する者

（ア）外国において学校教育における12年の課程を修了した者（2024年3月31日までに修了見込みの者を含む）又はこれに準ずる者

（イ）文部科学大臣の指定した次のいずれかの者

- i. スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者
- ii. ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者
- iii. フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者
- iv. 外国人を対象に教育を行うことを目的として日本において設置された教育施設であって、その教育活動等について、文部科学大臣が指定する国際的な評価団体（WASC、ACSI、CIS）の認定を受けたものに置かれる12年の課程を修了した者又は2024年3月31日までに修了見込みの者

②独立行政法人国際交流基金と公益財団法人日本国際教育支援協会が共催で実施する「日本語能力試験」（JLPT）について以下に記載のレベル以上に合格している者

【経営学部・地域創造学部・国際社会学部・情報システム学部】 N2

【看護栄養学部】 N1

③【経営学部・地域創造学部・国際社会学部】

独立行政法人日本学生支援機構が実施する日本留学試験の2022年度第2回試験（11月実施）若しくは2023年度第1回試験（6月実施）を受験した者又は2023年度第2回試験（11月実施）を受験見込みの者で、以下の要件に該当する者

学 科	利用科目	試験の成績	出題言語
経 営 国 際 経 営 公 共 政 策 実 践 経 済	日本語	(出願にあたっては) 成績要件は 特に設けない	日本語
	日本語記述		
	数学(コース1又はコース2)		
	理科(物理、化学、生物から2科目 選択)又は総合科目		
国 際 社 会	日本語	(出願にあたっては) 成績要件は 特に設けない	日本語
	日本語記述		
	数学(コース1又はコース2)		
	総合科目		

【情報システム学部・看護栄養学部】

独立行政法人日本学生支援機構が実施する日本留学試験の2022年度第2回試験（11月実施）又は2023年度第1回試験（6月実施）を受験した者で、以下の要件に該当する者

学 科	利用科目	試験の成績	出題言語
情報システム	日本語	240点以上	日本語
	日本語記述	30点以上	
	数学(コース1又はコース2)	120点以上	
	理科(物理、化学、生物から2科目 選択)又は総合科目	120点以上	
情報セキュリティ	日本語	240点以上	日本語
	日本語記述	30点以上	
	数学(コース2)	120点以上	
	理科(物理、化学、生物から2科目 選択)	120点以上	
看 護	日本語	280点以上	日本語
	日本語記述	35点以上	
	数学(コース1又はコース2)	(出願にあたっては) 成績要件は特に設けない	
	理科(化学、生物)		
栄 養 健 康	日本語	240点以上	日本語
	日本語記述	(出願にあたっては) 成績要件は特に設けない	
	理科(化学)	60点以上	
	理科(生物)	60点以上	

④出入国管理及び難民認定法において、大学入学に支障のない在留資格を有する者又は取得できる者

## 6. 選抜方法等

### (1) 選抜方法等

#### ①選抜方法

経営学部

地域創造学部

国際社会学部

出願書類、日本留学試験の結果、大学が実施する小論文及び面接の結果を総合して選抜します。

情報システム学部

・情報システム学科

出願書類、日本留学試験の結果、大学が実施する小論文及び面接の結果を総合して選抜します。

・情報セキュリティ学科

出願書類、大学が実施する小論文及び面接の結果を総合して選抜します。

看護栄養学部

・看護学科

出願書類、日本留学試験の結果、大学が実施する小論文及び面接の結果を総合して選抜します。

・栄養健康学科

出願書類、大学が実施する小論文及び面接の結果を総合して選抜します。

#### ②選抜期日

経営学部 地域創造学部	国際社会学部 情報システム学部 看護栄養学部
2023年11月18日(土)	2023年11月25日(土)

#### ③試験時間(渡日入試) ※日本標準時(JST)

学部	学科	科目等	試験時間
経営	経営 国際経営	小論文	11:00~12:00(60分)
		面接	13:00~
地域創造	公共政策 実践経済	小論文	11:00~12:00(60分)
		面接	13:00~
国際社会	国際社会	小論文	10:00~11:30(90分)
		面接	12:30~
情報システム	情報システム 情報セキュリティ	小論文	10:00~11:30(90分)
		面接	12:30~
看護栄養	看護	小論文	10:00~11:30(90分)
		面接	12:30~
	栄養健康	小論文	10:00~11:30(90分)
		面接	12:30~

※受験者は、小論文開始時刻の20分前までに指定された教室に入室し、着席してください。

※面接試験開始時間については変更することがあります。

④試験時間（渡日前入試）※ベトナム標準時（VST）

学部	学科	科目等	試験時間
経営	経営 国際経営	小論文	9:30～10:30（60分）
		面接	11:00～
地域創造	公共政策 実践経済	小論文	9:30～10:30（60分）
		面接	11:00～
国際社会	国際社会	小論文	9:00～10:30（90分）
		面接	11:30～
情報システム	情報システム 情報セキュリティ	小論文	9:00～10:30（90分）
		面接	11:30～
看護栄養	看護	小論文	9:00～10:30（90分）
		面接	11:30～
	栄養健康	小論文	9:00～10:30（90分）
		面接	11:30～

※受験者は、小論文開始時刻の20分前までに指定された試験会場に入室し、着席してください。  
 ※面接は、インターネットによる面接を実施します。  
 ※面接試験開始時間については変更することがあります。

⑤科目等の配点

学部	学科	日本留学試験					本学選抜試験		配点 合計
		日本語	日本語 記述	数学	理科	総合 科目	小論文	面接	
経営	経営	400点	50点	200点	200点 ※1		300点	300点	1450点
	国際経営	400点	50点	200点	200点 ※1		300点	300点	1450点
地域 創造	公共政策	400点	50点	200点	200点 ※1		300点	300点	1450点
	実践経済	400点	50点	200点	200点 ※1		300点	300点	1450点
国際 社会	国際社会	400点	50点	200点	—	200点	100点	100点	1050点
情報 システム	情報システム	400点	50点	200点	200点 ※1		750点	250点	1850点
	情報セキュリティ	—					50点	50点	100点 ※2
看護 栄養	看護	400点	50点	200点	200点	—	400点	200点	1450点
	栄養健康	—					200点	200点	400点 ※2

※1 経営学部・地域創造学部・情報システム学部情報システム学科の日本留学試験については、理科（物理、化学、生物から2科目）又は総合科目のいずれか1科目の選択となります。  
 ※2 情報セキュリティ学科・栄養健康学科については、日本留学試験は出願資格としてのみ使用し、本学選抜試験で選抜します。

## ⑥試験場

### 【渡日入試】

経営学部 地域創造学部	長崎県立大学佐世保校	長崎県佐世保市川下町123番地
国際社会学部 情報システム学部 看護栄養学部	長崎県立大学シーボルト校	長崎県西彼杵郡長与町まなび野1丁目1番1

### 【渡日前入試】

全学部	ベトナム ダナン試験場	Brilliant Hotel 162 Bach Dang, Da Nang, Viet Nam
-----	----------------	--

## (2) 受験上の注意事項

- ①筆記試験開始後は、20分以内の遅刻に限り受験を認めますが、試験時間の延長は行いません。
- ②面接試験開始時刻までに、決められた面接控室に集合し、待機してください。その時に不在であった場合には、欠席したものと取り扱います。
- ③本学が指定した科目等のいずれか一つでも受験しなかった者は、選考の対象としません。
- ④当日は、**本学受験票**を必ず持参してください。
- ⑤当日に受験票を忘れた者は、試験場所定の仮受験票発行受付で仮受験票の交付を受けてください。また、受験票は試験後も大切に保管してください。
- ⑥筆記試験時に、受験票を試験監督者が見えるよう机の上に置いてください。
- ⑦小論文の試験時間中に使用を許可するものは、黒鉛筆（和歌・格言等が印刷されているものは不可）、鉛筆キャップ、シャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類は不可）、時計（辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものは不可）、眼鏡、ハンカチ、目薬、ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけ取り出したもの）に限ります。これ以外の所持品を使用または置いている場合には、解答を一時中断させて、試験終了まで預かることがあります。
- ⑧試験室内での発言は、必ず挙手をして、監督者の許可を得て行ってください。
- ⑨試験時間内の退室は認めません。なお、発病等やむを得ない場合は、挙手をして監督者の指示に従ってください。
- ⑩携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等の電子機器類は、試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切り、かばん等に入れてください。
- ⑪試験室内で英文字、地図等がプリントされている衣服等、試験実施に影響を与えるものを着用している場合は、必要に応じ脱衣等の指示に従っていただきます。
- ⑫試験時間中は、受験者間の物品の貸借は一切認めません。
- ⑬面接試験終了時間は未定です。公共交通機関や宿泊所の利用については、十分注意して予約等を行ってください。
- ⑭試験場では昼食の販売は行いませんので、各自持参してください。
- ⑮試験場には、受験者用駐車場がありませんので、公共交通機関を利用してください。
- ⑯試験前日の午後限り試験場の下見はできますが、建物内への立ち入りはできません。
- ⑰その他必要な事項が生じた場合には、志願者情報に登録されたメールアドレス又は大学のホームページから通知します。

### (3) 不正行為

①次のことをすると不正行為となります。

- ・出願確認票、受験票、解答用紙へ故意に虚偽の記入（インターネット出願の際、本人以外の写真を使用することや、解答用紙に本人以外の氏名・受験番号を記入するなど。）をすること。
- ・カンニング（試験に関係するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、教科書、参考書、辞書等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど。）をすること。
- ・他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
- ・配付された問題冊子を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。
- ・解答用紙を試験室から持ち出すこと。
- ・「解答はじめ。」の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。
- ・試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類を使用すること。  
※イヤホンについては、耳に装着していれば使用しているものとします。（試験時間中、病気・負傷や障がい等により補聴器等を使用したい場合は、受験上の配慮申請が必要です。）
- ・「解答やめ。鉛筆を置いてください。」の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。

②上記①以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。

- ・試験時間中に使用を許可するもの以外や、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類、教科書、参考書、辞書等の書籍類をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていること。
- ・試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など。）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
- ・試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申出をすること。
- ・試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- ・試験場において監督者等の指示に従わないこと。
- ・その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

③不正行為をした者及び監督者の指示に従わない者は、直ちに退場させます。その場合は、以後の受験はできなくなるとともに、受験した試験の成績は無効とします。なお、極めて悪質な不正行為を行った場合は、警察に被害届を提出することがあります。

## 7. 出願手続

### (1) 出願登録期間・検定料支払期限・出願書類提出期限

出願登録期間	検定料支払期限	出願書類提出期限
2023年10月6日（金） ～ 2023年10月13日（金） 17：00まで	2023年10月13日（金） 17：00まで	2023年10月13日（金） 必着※

※渡日前入試の志願者は、2023年10月18日（水）郵送必着

## (2) 出願方法

長崎県立大学ホームページにアクセスし、「インターネット出願はこちら」から出願してください。

<https://sun.ac.jp/>

※Post@net のログイン画面より「新規登録」ボタンから、アカウントを作成してください。

※Post@net の本学のページに掲載の『はじめに』をよく確認してください。

※《アカウント作成 ⇒ 出願登録 ⇒ 検定料の支払い ⇒ 出願書類の提出》で出願手続きが完了します。

出願書類等は、検定料の支払後にダウンロードが可能になる【封筒貼付用宛名シート】を貼り付けた角2 (240mm×332mm 程度) 封筒に入れ、必ず「簡易書留・速達」で郵送してください。

持参する場合の受付時間は、平日の9時から17時までとします。

日本国外から送付する際は、EMS (国際スピード郵便) 等、配達記録が残る方法で送付してください。

## (3) 出願先

経営学部 地域創造学部	〒858-8580 長崎県佐世保市川下町123番地 長崎県立大学佐世保校 学生支援課学生グループ 123 Kawashimo-cho, Sasebo, Nagasaki 858-8580, JAPAN
国際社会学部 情報システム学部 看護栄養学部	〒851-2195 長崎県西彼杵郡長与町まなび野1丁目1番1 長崎県立大学シーボルト校 学生支援課学生グループ 1-1-1 Manabino, Nagayo-cho, Nishi-Sonogi-gun, Nagasaki 851-2195, JAPAN

## (4) 出願書類等

出願書類は、「インターネット出願システムから印刷するもの」と、「志願者が各自で準備するもの」があります。出願書類がすべてそろっていないと受付できません。

○インターネット出願システムから印刷するもの

※検定料の支払い後に、「インターネット出願 入金完了」メールが届いたら、Post@net にログインし、「出願内容一覧」から長崎県立大学の『出願内容を確認』にアクセスして、【出願確認票 (入金済)】、【封筒貼付用宛名シート】をダウンロードし、ページの拡大・縮小はせずにA4サイズ of 用紙に印刷してください。

出願書類等	摘 要
2024年度長崎県立大学 出願確認票【入金済】	①出願内容、志願者情報に間違いがないか確認してください。 ②必ず【入金済】と記載された出願確認票を利用してください。 ※【未入金】と記載された出願確認票は志願者本人、保護者、高校教員等の確認用に利用し、大学に郵送しないでください。
封筒貼付用宛名シート	①出願内容、志願者情報に間違いがないか確認してください。 ②カラーまたは2色刷りで印刷してください。 ③出願書類は宛名シートを貼り付けた市販の角2封筒 (240mm×332mm) に入れ、封をしてください。封筒の色は問いません。 ※封筒貼付用宛名シートが出力できない場合は、直接封筒に以下の内容を記入し「簡易書留・速達」で郵送してください。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;">・ 出願登録番号 ・ 志願者情報 (郵便番号、住所、氏名、フリガナ) ・ 『入試出願書類在中』 (朱書き) ・ 出願先住所</div>



○志願者が各自で準備するもの

出願書類等	摘 要
履歴書	本学所定の様式に必要な事項を漏れなく記入してください。 ※データ入力可
志望理由書	本学所定の様式に志望理由等について、志願者本人が記入してください。 ※データ入力可
卒業（修了）証明書等 （原本）	高等学校の卒業（修了）証明書又は卒業（修了）見込証明書を提出してください。 ※外国の学校又は機関において日本語以外で作成された書類には、 <b>日本語の訳文及び公証書</b> を添付のうえ提出してください。 ※外国の高等学校の卒業（修了）証明書又は卒業（修了）見込証明書が発行できない等やむを得ないと認められる事情がある場合は、卒業（修了）証書の写しを提出してください。その場合、受験時に原本の提示が必要となります。
成績証明書（原本）	外国において在学した高等学校長が作成した在学期間すべての成績証明書を提出してください。 ※外国の学校又は機関において日本語以外で作成された書類には、 <b>日本語の訳文及び公証書</b> を添付のうえ提出してください。
日本留学試験 受験票の写し	2022年度日本留学試験（11月実施）又は2023年度日本留学試験（6月または11月実施）のいずれか1つの <b>受験票の写し</b> を提出してください。 ※情報システム学部又は看護栄養学部志願者については、2022年度日本留学試験（11月実施）又は2023年度日本留学試験（6月実施）のいずれか1つの受験票の写し及び成績が確認できる書類（日本留学試験成績確認書又は成績通知書の写し）を提出してください。 ※2023年度日本留学試験（11月実施）を受験見込みの者で、出願書類の提出期限までに受験票が届かない場合は、受験申込を証明する資料を提出してください。この場合は、必ず受験当日に日本留学試験の受験票を持参してください。
資格証明書及び 成績評価証明書等	出願資格(イ)に該当する者は次の i～iv のいずれかの証明書を提出してください。 i 国際バカロレア資格証書の写し及び最終試験6科目の成績評価証明書の写し ii アビトゥア資格証明書「一般の大学入学資格証明書」の写し及び試験科目の成績評価証明書の写し iii バカロレア資格（フランス共和国）証書の写し及び試験科目の成績証明書の写し iv 修了又は修了見込証明書及び当該教育施設が認定を受けた証明書
本人及び国籍を証明する 書類	渡日入試志願者は、在留カード（両面）の写し又は、市区町村が発行する住民票の写し（コピー不可）を提出してください。 在留カードの写し又は住民票の写しが提出できない者及び渡日前入試志願者は、パスポートの写しを提出してください。 渡日前入試志願者でパスポートを所持していない場合は、顔写真付きの国籍を証明する他の書類（原則として原本。原本を提出できない場合は写し。）を提出してください。
日本語能力を証明する 書類	<b>【経営学部・地域創造学部・国際社会学部・情報システム学部】</b> 渡日前入試志願者は、日本語能力認定書（N2以上）の写しを提出してください。 <b>【看護栄養学部】</b> 渡日前入試志願者は、日本語能力認定書（N1）の写しを提出してください。

(5) 出願上の注意事項

- ①出願書類の記入に当たっては、楷書で正しく明確に記入してください。また、黒色のボールペンで記入してください。
- ②公証書は、各国の大使館、領事館、外務省等において、提出書類が真実であることを宣誓し、証明を受けてください。ただし、中国出身者の方については2012年8月から中華人民共和国駐日本国大使館及び総領事館では証明を受けることができなくなりました。**中国国内**の教育部学歴認証センター(北京市)または各地方の公証処（各地方の司法局に認定された機関）において証明を受ける必要があります。出願書類の準備に時間がかかることが予想されますので、早めに手続きを開始する

ようにしてください。

③出願書類郵送後は、記入事項の変更は認めません。ただし、氏名、住所、電話番号に変更があった場合は、志望学部の学生支援課学生グループに連絡してください。

④入学を許可した後であっても、提出された出願書類の記載と相違する事実が判明した場合には、入学を取り消すことがあります。

⑤一度受理した出願書類は返却しません。

⑥既納の検定料は、次に該当する場合のみ返還します。

(ア) 出願書類を提出しなかった場合

(イ) 出願が受理されなかった場合

(ウ) 二重に振り込んだ場合

なお、上記理由による当該検定料相当額の返還の申し出は、出願期間の最終日から40日以内とします。

## (6) 受験票の準備

出願書類の受理、検定料の入金が確認されると、選抜期日の7日前を目途に「デジタル受験票ダウンロード指示メール」が届きます。メールが届いた後、Post@net にログインし、「出願内容一覧」から長崎県立大学の『出願内容を確認』にアクセスして「デジタル受験票」をダウンロードし、印刷して、大切に保管してください。受験票は受験時に必要ですので、必ず持参してください。

※選抜期日の7日前になってもメールが届かない場合は、志望学部の学生支援課学生グループまでご連絡ください。

## 8. 合格発表

### (1) 合格発表日

2024年1月5日(金) 10時

### (2) 合格発表方法

合格発表日に合格者に対して合格通知書を速達で発送します。また、本学ホームページ上に合格者の受験番号を掲載します。なお、電話での問い合わせには、一切応じません。

《ホームページアドレス》 <https://sun.ac.jp/>

※ ホームページ上の合格発表は補助的なものですので、必ず合格通知書で確認してください。

※ 日本国外からの出願の場合は、合格者に対して上記方法の他に、合格通知書(pdf)及び入学料の振込方法等をメールにて通知します。

## 9. 入学手続

### (1) 入学手続期間

2024年1月9日(火)～1月19日(金) 必着

※渡日前入試の志願者は、2024年1月24日(水) 必着

## (2) 入学手続先

経営学部 地域創造学部	〒858-8580 長崎県佐世保市川下町123番地 長崎県立大学佐世保校 学生支援課学生グループ 123 Kawashimo-cho, Sasebo, Nagasaki 858-8580, JAPAN
国際社会学部 情報システム学部 看護栄養学部	〒851-2195 長崎県西彼杵郡長与町まなび野1丁目1番1 長崎県立大学シーボルト校 学生支援課学生グループ 1-1-1 Manabino, Nagayo-cho, Nishi-Sonogi-gun, Nagasaki 851-2195, JAPAN

## (3) 入学手続方法

- ①入学手続の詳細及び必要な書類は、合格通知書とともに送付します。
- ②提出書類は、郵送又は大学窓口へ直接持参してください。
- ③郵送の場合は、必ず「簡易書留・速達」とし、入学手続期間内必着とします。
- ④大学窓口へ持参する場合は、平日の9時から17時までに入学手続先の学生支援課窓口へ提出してください。  
日本国外から送付する際は、EMS（国際スピード郵便）等、配達記録が残される方法で送付してください。
- ⑤一度受理した入学手続書類は返還しません。

## (4) 留意事項

合格者が入学手続期間内に手続を完了しない場合は、合格者としての権利が消滅します。

## 10. 受験上の配慮

障がい等のある入学志願者で、受験上及び修学上特別な配慮を必要とする場合は、2023年9月15日（金）までに、学生支援課学生グループに申し出てください。

なお、必要な場合は、本人又はその立場を代弁できる出身学校関係者との面談や医師の診断書等の提出をお願いすることがあります。

## 11. 初年度納付金等

### (1) 入学料

入学手続の際には、下記金額の入学料を納付する必要があります。

- ①県内生 176,500円
- ②県外生 353,000円

(注1)「県内生」とは、本人又はその配偶者若しくは一親等の血族が、2023年4月1日から引き続き長崎県内に住所を有する者をいいます。「県外生」とは、「県内生」以外の者をいいます。

(注2) 入学料の金額は現行の規定によるもので、変更になることがあります。

(注3) 入学料は、入学手続期間内に納付してください。

(注4) 既納の入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

## (2) 授業料

前 期	後 期	年 額
267,900円	267,900円	535,800円

(注1) 授業料の金額は現行の規定によるもので、変更になることがあります。

(注2) 授業料は入学後に納付していただきます。詳細については、入学手続き書類とともに送付します。

(注3) 在学中に授業料の改定が行われた場合、改定時から新授業料が適用されます。

## (3) その他納付金

学 部	同窓会費	学生自治会費	学生保険料
経 営 地域創造	22,000円	33,000円	4,660円
国際社会 情報システム 看護栄養	10,000円	29,500円	4,660円～

(注) その他納付金の金額は現行の規定によるもので、変更になることがあります。

## (4) 初年度納付金以外の経費 (参考) 【2023年8月時点】

入学料、授業料及びその他納付金以外に、1年次又は2年次以降に次の経費が必要となります。(納付時期等の詳細については入学後に説明します。)

### ①進級、卒業要件に係る資格試験等受験料

- ・ TOEIC IP 3,130 円/回 ・ TOEIC 公開テスト 6,710 円/回
- ・ 中国語検定 (中検) 3 級 5,800 円/回 2 級 7,800 円/回
- ・ 日経 TEST (企業・団体受験) 4,400 円~/回
- ・ 日商簿記検定 2 級 4,720 円/回
- ・ F P 技能検定 2 級 5,700 円/回 (学科試験) ・ 6,000 円 (実技試験)
- ・ 販売士検定 2 級 5,770 円/回
- ・ ニュース時事検定 2 級 4,300 円/回
- ・ IT パスポート試験、基本情報技術者試験、情報セキュリティマネジメント試験 7,500 円/回
- ・ CG-ARTS 検定 (エキスパート) 6,200 円/回

※要件に達するまでの費用がかかります。

### ②必修となる研修、課外講座等の費用 (参考: 海外研修については渡航した場合)

- ・ 経営学部 国際経営学科  
海外語学研修 (1 年次) 約 300,000 円～  
海外ビジネス研修 (3 年次) 約 250,000 円～約 350,000 円 (場所、期間により異なります)
- ・ 地域創造学部 インターンシップ等の実践科目において、交通費等の実費がかかります。
- ・ 国際社会学部 国際社会学科  
海外語学研修 (2 年次) 【英語】 約 400,000 円～ (場所、期間により異なります)  
【中国語】 約 200,000 円～約 400,000 円 (場所、期間により異なります)

### ③実験、実習等の費用

④入学者全員に一定の基準にあったノート型パソコンを準備していただく予定です。(詳細は入学前に説明します。)

## (5) その他

### ①奨学金

独立行政法人日本学生支援機構や民間団体からの奨学金があります。  
詳細については、学生支援課学生グループへお問い合わせください。

### ②授業料の減免

基準単位を取得し、生活困窮と認められる者で、序列化した成績が上位1/2以上の者は全額免除、1/2未満の者は半額を免除する制度があります。

### ③その他の連絡事項

下宿・アパートについては、本学大学生生活協同組合で相談に応じます。

TEL 佐世保校           0956-48-3732  
シーボルト校       095-887-5552

## 12. 入試情報の開示

### (1) 個人成績の開示

令和6(2024)年度特別選抜私費外国人留学生入学試験受験者の個人成績を受験者本人に限り開示します。

- ①申請期間       2024年5月7日(火)から2024年5月31日(金)まで  
                  (平日の9時から17時まで)
- ②申請方法       経営学部・地域創造学部は佐世保校、国際社会学部・情報システム学部及び看護栄養学部はシーボルト校の学生支援課窓口にて、所定の用紙により申請してください。  
                  (本人を確認する書類等の提示が必要です)
- ③開示内容       (ア)・日本留学試験の得点  
                  ・本学選抜試験の得点  
                  ※開示内容は、本学が判定に使用した教科に限ります。  
                  ※情報システム学科は日本留学試験、小論文の得点のみ開示します。  
                  (イ) (ア) の総得点及び順位

### (2) 合格者の成績

令和6(2024)年度特別選抜入学試験合格者の総得点の最高点、最低点、平均点を5月7日(火)から開示します。ただし、合格者が10名未満の学科・入試区分については開示しません。

### (3) 入試状況

本学HP(入試情報/学部入試/過去の入試情報/入試状況)に掲載しています。

### 13. 評価・合否判定基準

#### (1) 評価基準

学部	学 科	科目等	評 価 基 準
経営	経 営 国 際 経 営	小論文	日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価する。
		面接	日本語能力を評価するとともに、出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価する。 面接は、個人面接を行う。
地域創造	公 共 政 策 実 践 経 済	小論文	日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価する。
		面接	日本語能力を評価するとともに、出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価する。 面接は、個人面接を行う。
国際社会	国 際 社 会	小論文	日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価する。
		面接	日本語能力を評価するとともに、出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価する。 面接は、個人面接を行う。
情報システム	情報システム	小論文	日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提として、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価する。
		面接	日本語能力を評価するとともに、出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価する。 面接は、個人面接を行う。
	情報セキュリティ	小論文	日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提として、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価する。
		面接	日本語能力を評価するとともに、出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価する。 面接は、個人面接を行う。
看護栄養	看 護	小論文	日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提として、提示した素材により、理解力、論理的思考力、表現力等を評価する。
		面接	志望理由書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、理解力、表現力、社会性、日本語による会話的表現力、本学科が提供する専門領域に対する適性等を総合的に評価する。 面接は、個人面接を行う。
	栄 養 健 康	小論文	日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提として、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価する。
		面接	日本語能力を評価するとともに、出願書類を参考に、志望動機、学科への関心、生命科学への関心、健康観、将来展望等の質疑応答から、目的意識と意欲を総合的に評価する。 面接は、個人面接を行う。

## (2) 合否判定基準

学部	学 科	合 否 判 定 基 準
経営	経 営	①日本留学試験、小論文、面接の総得点で順位を決め、合否を決定する。 ②同点の場合は、小論文の得点が高い者を上位とする。
	国 際 経 営	
地域創造	公 共 政 策	①日本留学試験、小論文、面接の総得点で順位を決め、合否を決定する。 ②同点の場合は、小論文の得点が高い者を上位とする。
	実 践 経 済	
国際社会	国 際 社 会	①日本留学試験、小論文、面接の総得点で順位を決め、合否を決定する。 ②同点の場合は、同順位とする。
情報システム	情報システム	①日本留学試験、小論文、面接の総得点で順位を決め、合否を決定する。 ②同点の場合は、小論文の得点が高い者を上位とする。
	情報セキュリティ	①小論文、面接の総得点で順位を決め、合否を決定する。 ②同点の場合は、同順位とする。
看護栄養	看 護	①日本留学試験、小論文、面接の総得点で順位を決め、合否を決定する。 ②同点の場合は、日本留学試験の得点が高い者を上位とする。
	栄 養 健 康	①小論文、面接の総得点で順位を決め、合否を決定する。 ②同点の場合は、小論文の得点が高い者を上位とする。

## 14. 個人情報の利用

(1) 出願書類により取得した個人情報は、入学者選抜業務のために利用します。

また、合格者の個人情報は入学手続案内業務のため、入学者の個人情報は学籍登録業務のために利用します。

(2) 出願書類により取得した高等学校等の成績及び入学試験の成績は、授業料等減免業務、奨学生への推薦業務、教務関係業務及び教育改善・学生支援のために利用することがあります。

(3) 出願書類により取得した個人情報及び入学試験により取得した個人情報は、入学者選抜に関する統計調査・研究に利用します。